

だい かいじんけん どう わ もんだい ち いきこんだんかい ●第47回人権・同和問題地域懇談会まとめ

今回^{こんかい}の地域懇談会^{ちいきこんだんかい}は、多くの地域^{おほ}でくるま座^{ちいき}（輪^ざ）になり、また2つ・3つのグループ^わに分かれて懇談^{こんだん}をしました。手品^{てしな}やカードゲーム^{じこしょうかい}もあり、自己紹介^{じつ}では「実は…」とちょっとしたエピソード^そを添えるなど、いつもの雰囲気^{ふんいき}とちがって意見^{いけん}が出しやすかったとたくさんの感想^{かんそう}がありました。



たち^たば^か立場^{かんが}が変^{かた}われば考^かえ方も変^かわるのかとも思^{おも}いました。信^{しん}じること、信^{しん}じてあげることがいじめに大切^{たいせつ}とい^い言^{かんが}われて、考^{かんが}えさせられました。

今回のDVD「イマジネーション」は、

- ① 子どもの人権
- ② 同和問題
- ③ 障害者の人権

の3つのテーマで構成されています。

ラジオ番組^{ばんぐみ}に様々^{さまざま}な悩^{なや}み相談^{そうだん}が寄せられま^よす。相談者^{そうだんしゃ}の悩^{なや}みをラジオ番組^{ばんぐみ}を聴^きいているひと^{ひと}たちも一緒^{いっしょ}に考^{かんが}える内容^{ないよう}です。

①子どもの人権ーいじめ問題ー

いじめをなくすのはアナタ

主人公^{しゅじんこう}の中^{ちゅう}学生^{がくせい}は、身体^{からだ}が小^{ちい}さいこと^{こと}で一部^{いちぶ}の同級生^{どうきゅうせい}にからかわれているクラスメート^きのことが気^きになって、「やめろよ」と自分^{じぶん}から言^いえずラジ^{きょく}オ局^{そうだん}に相^{さう}談^{だん}メー^るを^{おく}送^くります。

どうしたらいじめをなくせるでしょうか…

懇談^{こんだん}の中^{なか}では、参加者^{さんかしゃ}自身^{じしん}が小^{しょう}学^{がく}生^{せい}の頃^{ころ}いじめ^いを受^うけた経^{けい}験^{けん}が^{いま}あり「今^{いま}なら、もう少^{すこ}しうま^うく対^{たい}処^{しょ}できるのではないかと^{おも}思^{おも}うので、その頃^{ころ}にもど^{もど}りたい」との発^{はつ}言^{げん}や、自分^{じぶん}の子ども^こが^{とき}いじめ^いにあ^{おやこ}った時^{とき}、親^お子^もでつ^おらい思^{おも}い^{けいけん}をし^{かた}た経^{かた}験^{けん}を語^{かた}られた方^{かた}もお^{かた}られま^{かた}した。いじめ^きられた時^きのつ^きらい思^{おも}いは何^{なん}年^{ねん}た^きっても消^きえないもの^きです。

どうわ もんだい
②同和問題

かか いちばん ほんとう
「関わらないのが一番」それ本当？

しゅじんこう は、プロポーズした彼女から被差別部落出身だと告げられ、そんな事は関係ないと言ったけど、母親や親戚から「そういう人たちとは関わらないのが一番」と言われ、ラジオ局に電話をかけ、母親たちへの怒りをぶつけます。

どうすることが一番いいのでしょうか…

2つ目のテーマである「同和問題」は、昨年と同じく「結婚差別」の内容でしたが、参加者からは「結婚差別は未だにありますか？」「DVDにあった部落差別は身近ではないように思う」などの声もあり、「寝た子を起こすな」という意見は今年度も耳にしました。しかし、昨年7月に起きた九州北部豪雨の被災地で、「同和地区にはボランティアに行きたくない」という理由で、同和地区がどこかと尋ねる差別事象が実際にあったことを伝えると、部落差別が現実にあることを知り、参加者からは驚きと落胆にもとれる声があがっていました。

うん、そうだね!!



し みんこう ざ かわぐち ひょうめんてき
市民講座で、川口さんも「表面的には見えにくくなっているけど、インターネット上など見えない差別がたくさんある」って言ってたね



どうわもんだいかいしょう けっこんさべつもんだい かいけつ
同和問題解消は、結婚差別問題を解決しないとダメである。若い父母は気にしなくても、祖父母や親戚がダメということが多い。若い人たちが勇気をもって自分の意見を伝えてほしい。

どうわ もんだい さべつもんだい じぶん
同和問題・差別問題は、すべて自分のこととして考えていったら、相手の人権も大切にできるし差別はなくなるのではないかな。

こんご つづ
今後も続けてほしい。
「寝た子を起こすな」
ほうしき
方式ではダメですよ。

しょうがいしゃ じんけん はったつしょうがい
③障害者の人権 —発達障害—

み し はったつしょうがい
見えにくいから知^しってほしい、発達障害のこと

じぶん じしん はったつしょうがい き まわ ひと たい おも
自分自身が発達障害だと気づくまでのいきさつや、周りの人たちに対する思いな
どをふたり 2人の方がかた 語ってくれました。だれ 誰にも、とく い 得意なこと ふとく い 不得意なことがあります。
かいせつしゃ こえ かんが ばめん なが
解説者の声とともに考えさせられる場面が流れます。
はったつしょうがい む あ
発達障害とどう向き合ったらいいのでしょうか …



しんぶん み
新聞やテレビで見た
りき 聞いたこと
はあ ありますが、よくし
知らないね

げいのうかい
芸能界にも
はったつしょうがい
「発達障害」だと
カミングアウト
ひと
した人もいたね



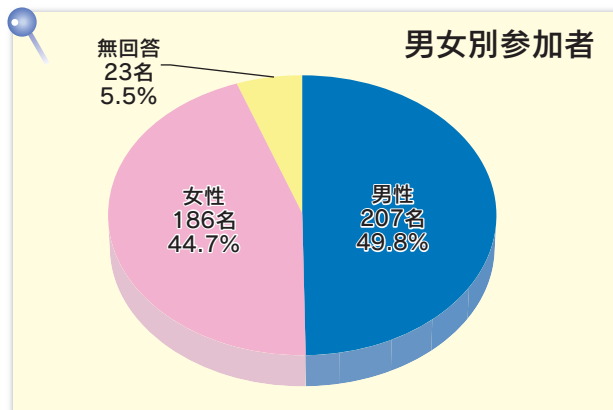
とく い ふ とく い
みんな得意なところ、不得意なところ
があるの、それをかんが 考えれば、その人の
こせい 個性でありじんかく 人格であると思う。

はったつしょうがい と あ さんか
発達障害を取り上げてあったので参加
しました。もっと、くわ 詳しく べんぎょう 勉強して知りた
いと思います。おも まわ りかい 周りの理解が必要
です。

むかし がっこう お つ こ はったつしょうがい
昔、学校に落ち着きのないうちがいた。もしかしたら発達障害だったのではな
いだろうか。いまかんが 今考えると、ひとり ひとり ちが 違いがあり、ひと 人はくろう 苦労してせいちょう 成長してい
くが、しなくてもよいくろう 苦労はと のぞ 取り除いてあげられればと思う。

はったつしょうがい さいきんしんぶん と あ ことば
「発達障害」については、最近新聞やテレビで取り上げられているので、言葉としては
し 知っている人は多かったようにおも 思いますが、はったつしょうがい かん 発達障害に関する知識としてはほとんどの人
が「わからない」「むずか 難しい」とかんが 感じているようでした。しかし、DVDをみ 観てごんたん 懇談をす
るなかで、はったつしょうがい たい 発達障害に対してりかい 理解しようとするいけん 意見が多く聞かれました。今後ひきつづ 引き続
き、ただ にんしき 正しく認識してもらおうためのきょういく 教育・けいはつ 啓発が必要と思われま

アンケート集計結果

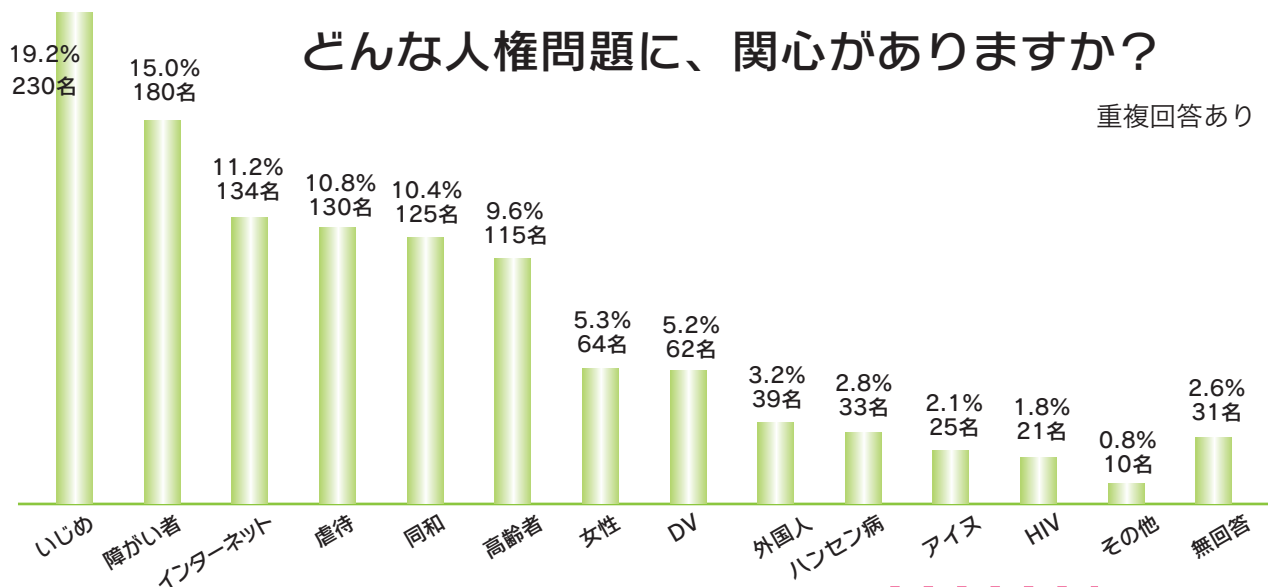
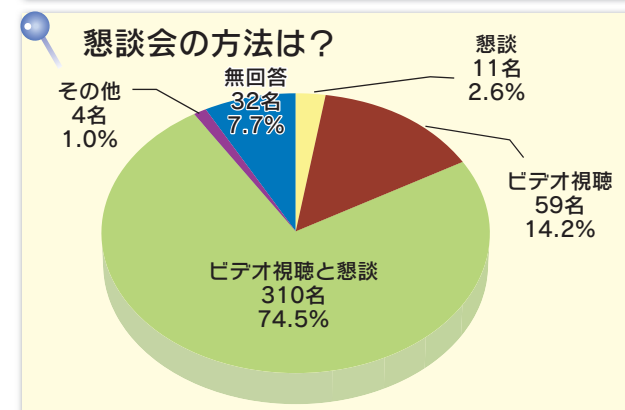
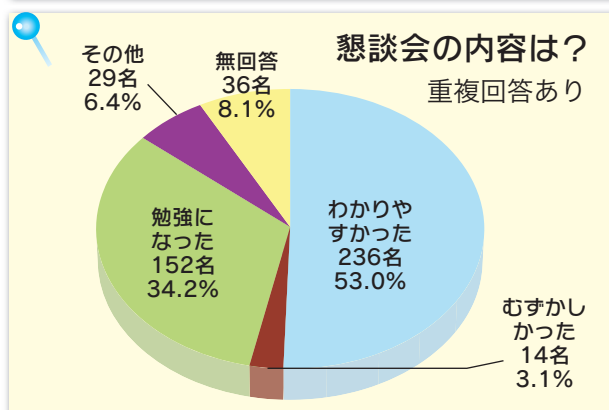
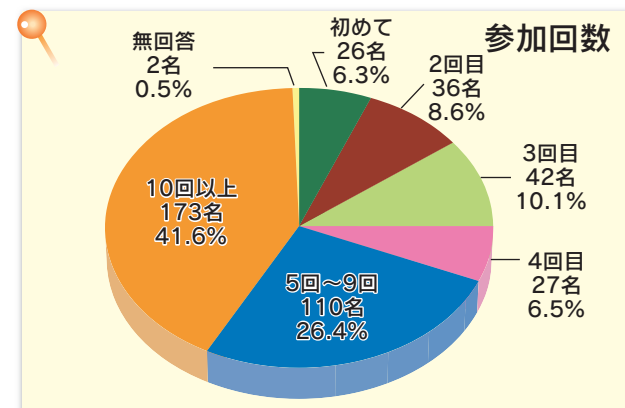
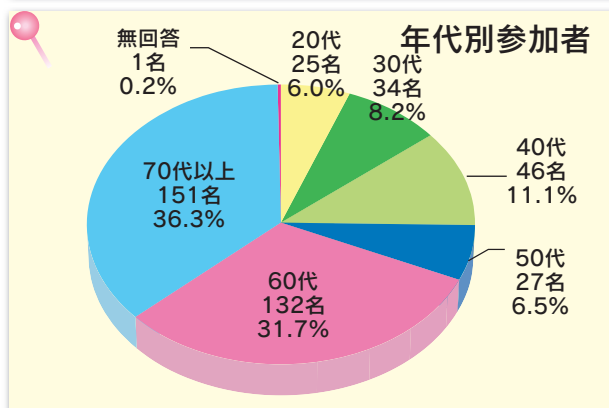


開催期間 平成29年10月2日(月)～27日(金)
11月5日(日)

開催場所 35行政区 35会場

参加人数 426名

アンケート提出者 416名



せいか かだい 成果と課題

せいか 成果

てじな なご
手品やカードゲームは和めたかな
くるま座（輪）になったり、2つか
3つのグループになったりちょっと
ちが
違ったよね



さくねんど かんしん じんけんもんだい もんだい しょうがいしゃもんだい
昨年度のアンケートでは、関心のある人権問題として、「いじめ問題」や「障害者問題」が
おお こんねんど と 多かったので、今年度はそのことを取りあげました。たくさんの方の参加を願い、今年度
はあれこれ かんが しゅこう こ 考えて趣向を凝らしました。そのことが参加者にも通じたのか、「何かよ
かったばい」 つぎ しこう げんき で 「次はもっとプラス思考になるような、元気の出るビデオを持ってきて」
すす かた ぜんかい も あ こえ さんか
「進め方がよかったのか、前回より盛り上がった」などの声もあり、「また参加したい」
おも こんだんかい いっぱちか おも きた
と思えるような懇談会に一步近づけたのではないかと思います。また、「改めて気づ
かされた気がする。回を重ねるごとに教えられることが多い。正しく知ることが必要」
ひとり き かさ おし つづ たいせつ いけん
「一人にひとつでも気づきがあれば希望が見えます。続けることが大切」などの意見があ
り、参加者自身の学習の場となったのではないのでしょうか。このことは、けいぞく
からこそその成果だと思われま

かだい 課題

こそだ せだい ひと
子育て世代の人たちに
さんか
も参加してほしいな！



かだい いちばん さんかしゃすう すく さんかしゃ
課題として一番にあげるとすれば、やはり参加者数が少ないことです。また、参加者の
かお か はじ さんかしゃ めい 顔ぶれもほとんど変わらず、初めての参加者は26名（6.3%）でした。また、50代以上の
さんかしゃ し こそだ せだい だいいか さんかしゃ すく
参加者が74.5%を占め、子育て世代の40代以下の参加者が25.3%と少ないことが残念
おも
に思われます。

さんかしゃ こ がっこう い おや かた さんか
参加者からも、「（子どもが）学校に行っている親の方にはたくさん参加してほしいです」
いけん こ がっこう じんけん がくしゅう かてい
という意見がありました。子どもたちは学校で人権について学習しています。家庭で、
じんけん はなし きかい
人権についての話を

こんご こそだ せだい かた さんか しゅほう ないよう けんとう
今後は子育て世代の方たちにも参加してもらえ

かんが
と